

# 麻杏甘石湯による 小児滲出性中耳炎治療の試み

おひさま耳鼻咽喉科

五十嵐 良和

# はじめに

- 麻杏甘石湯は麻黄、杏仁、甘草、石膏を主成分とし、小児気管支喘息などの治療に用いられる漢方薬である。
- 今回、滲出性中耳炎、遷延性中耳炎に対して、麻杏甘石湯投与を試みた。
- 漢方を飲みやすくする工夫とともに結果を報告する。

# 当院の小児中耳炎治療方針と 麻杏甘石湯の投与方法

## 1 急性炎症に対して

ペニシリンまたはセフェム系 抗生剤を使用

無効な場合は オゼックス

鼓膜切開は 抗生剤が無効な症例のみ

## 2 中耳貯留液残存に対して

抗アレルギー剤、去痰剤

(+ マクロライド系抗生剤)

鼻治療をおこなうが 通気はおこなっていない

麻杏甘石湯を 上記に追加または単独投与した

# 麻杏甘石湯の投与量

---

体重	一日投与量
10 kg	2.5 g 分2
15	3.75
20	5

---

苦みを抑えるためココアパウダーをミックス

# 対象 と 検討方法

## <対象>

2011年11月～2012年4月に

麻杏甘石湯を投与 一回以上再診した

7才以下の

滲出性中耳炎(急性炎症反復を含む) 30例

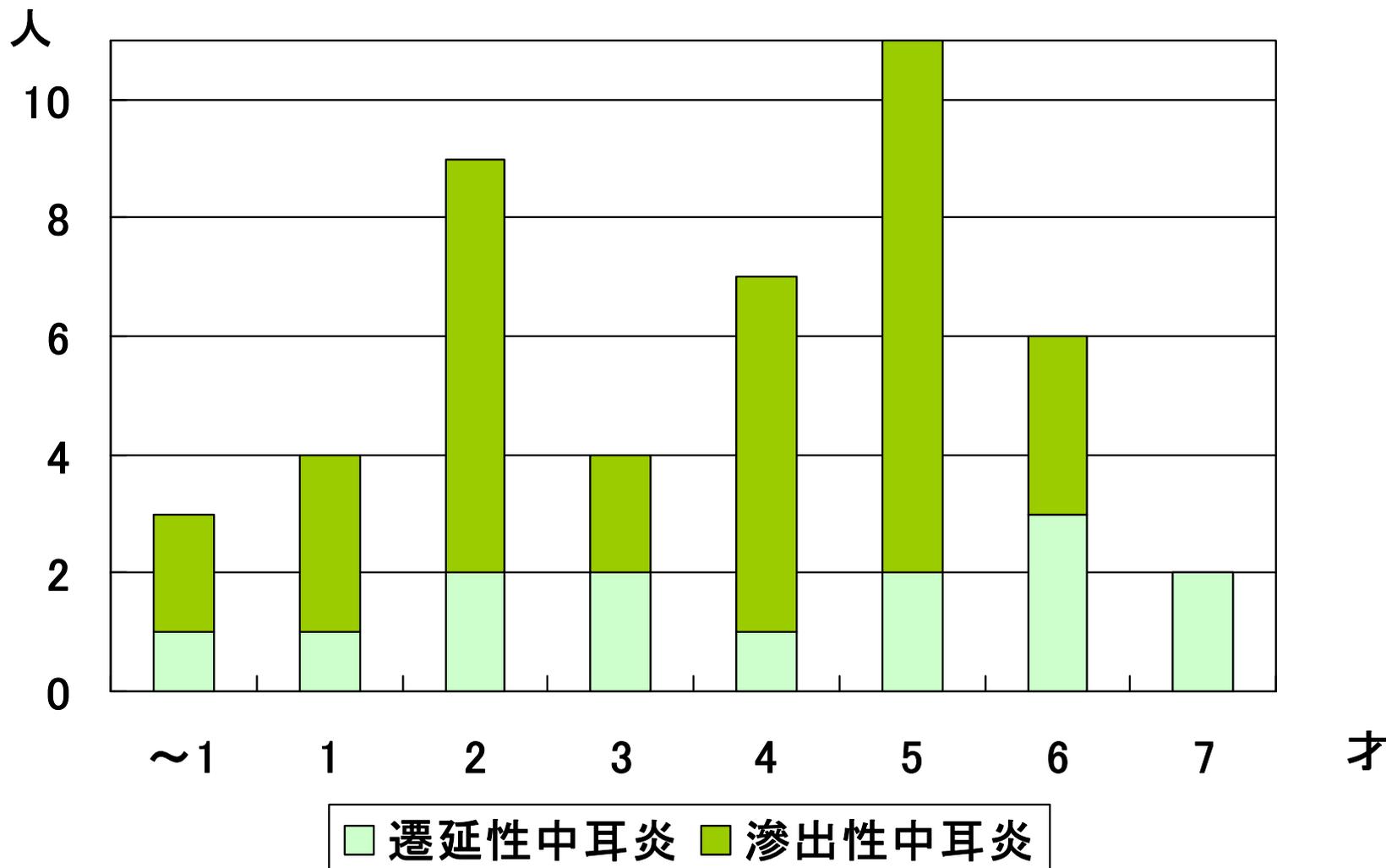
遷延性中耳炎 9例

## <検討方法>

2012年5月末における治療効果を

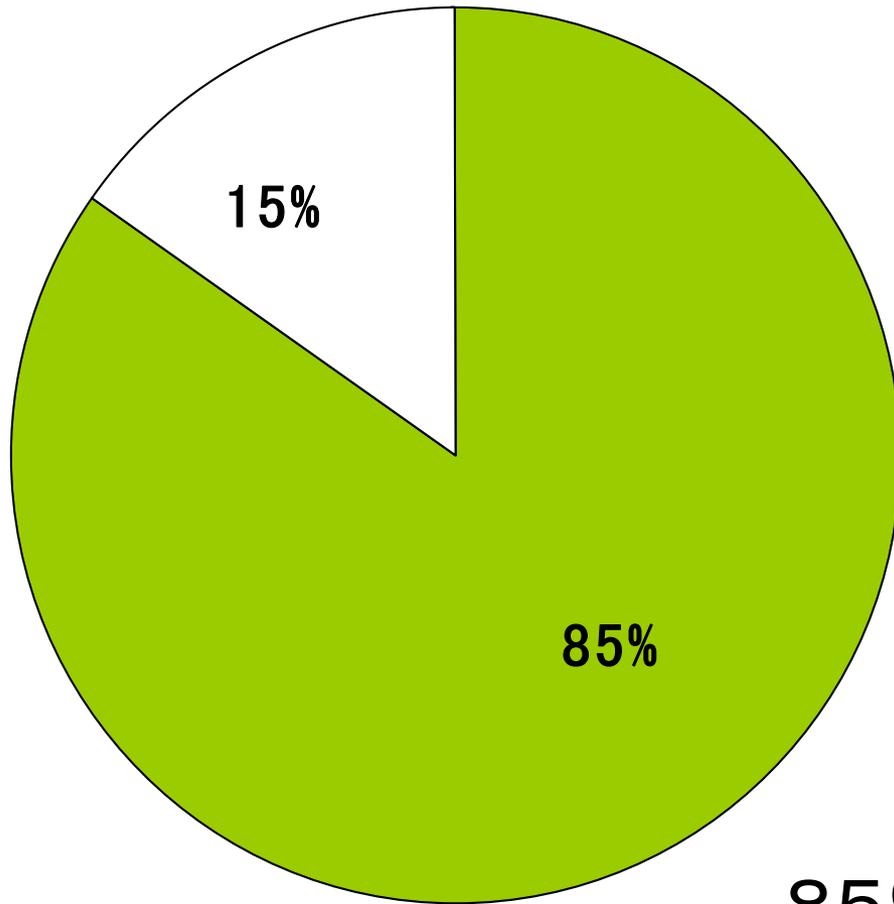
鼓膜内視鏡所見とチンパノメトリーをもとに判定

# 症例の年齢分布



2才と5才にピーク

# 漢方の服用状況

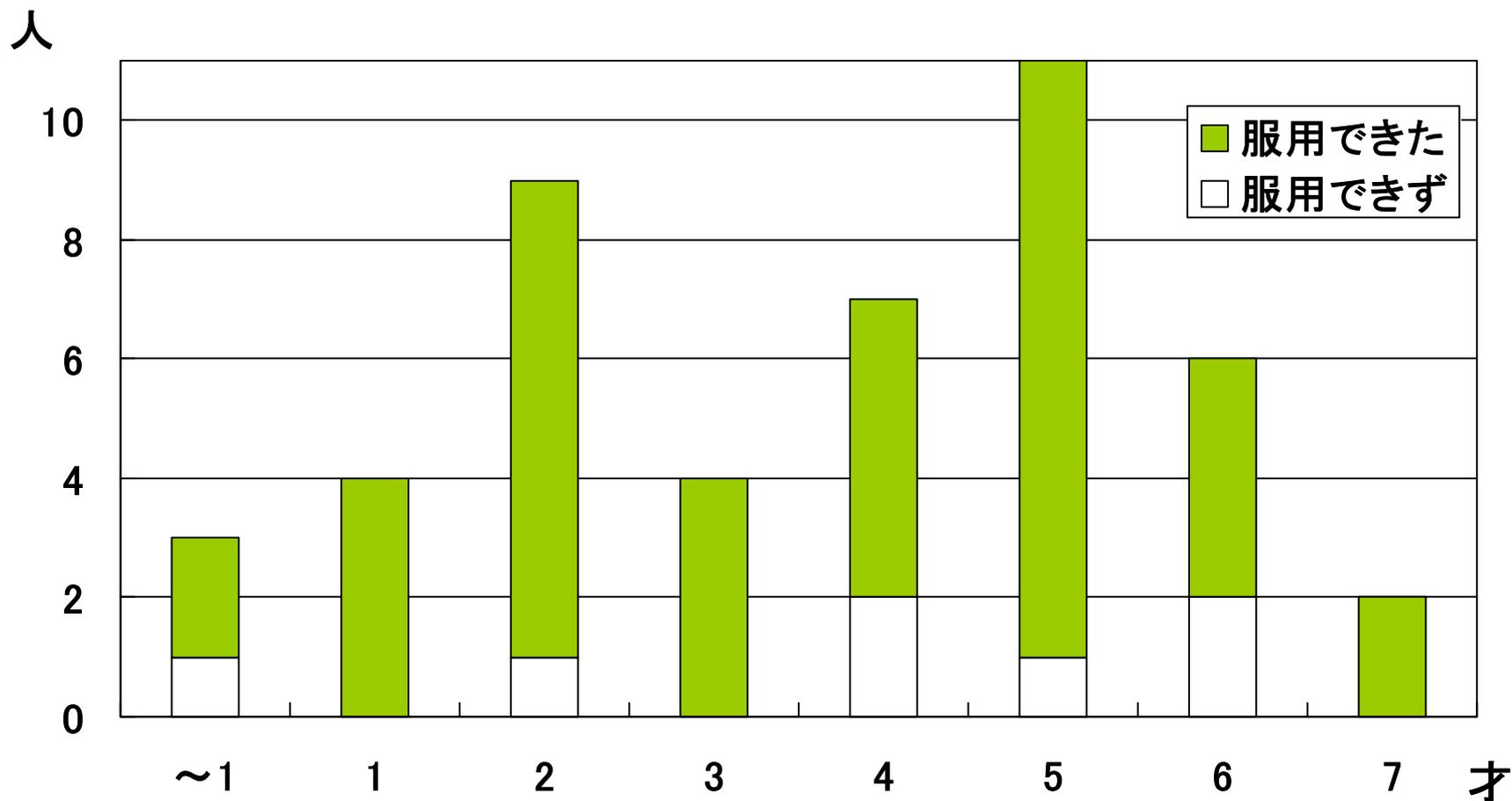


■ 服用できた

□ 服用できず

85%が漢方を服用できた

# 漢方の服用状況（年齢別）



漢方を服用できるかどうかは 年齢に関係なさそう

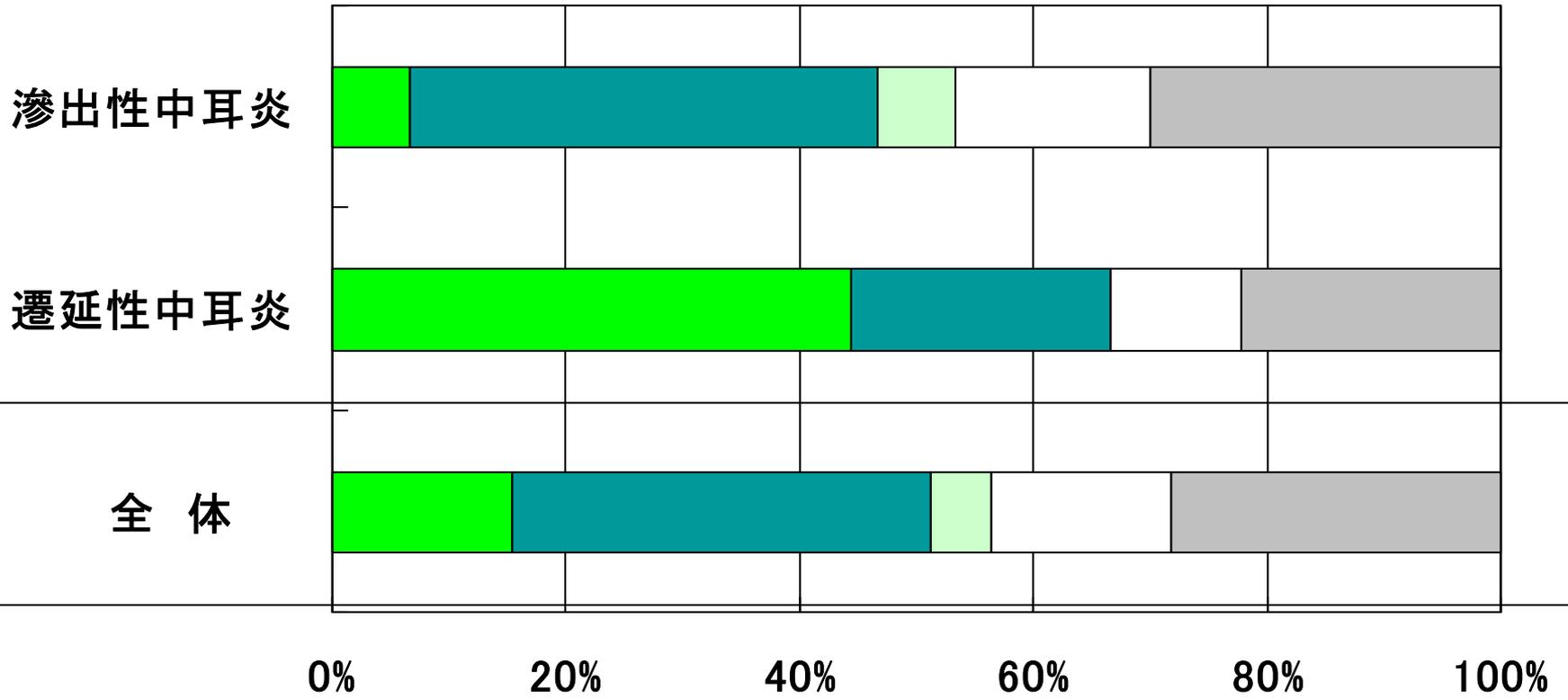
# 治療効果を5つに分類

効果あり	治癒 終了（鼓膜所見良好 チンパノA） 改善 継続中  （鼓膜所見改善 チンパノC） 改善 再増悪
効果なし	増悪 中止 効果不十分だが 継続中

# 結 果

	全体	滲出性	遷延性
<b>効果あり</b>	<b>22</b>	<b>16</b>	<b>6</b>
改善あり継続中	14	12	2
治癒	6	2	4
改善したが再増悪	2	2	0
<b>効果なし</b>	<b>17</b>	<b>14</b>	<b>3</b>
増悪中止	11	9	2
効果不十分だが継続中	6	5	1
<b>有効率 %</b>	<b>56</b>	<b>53</b>	<b>67</b>

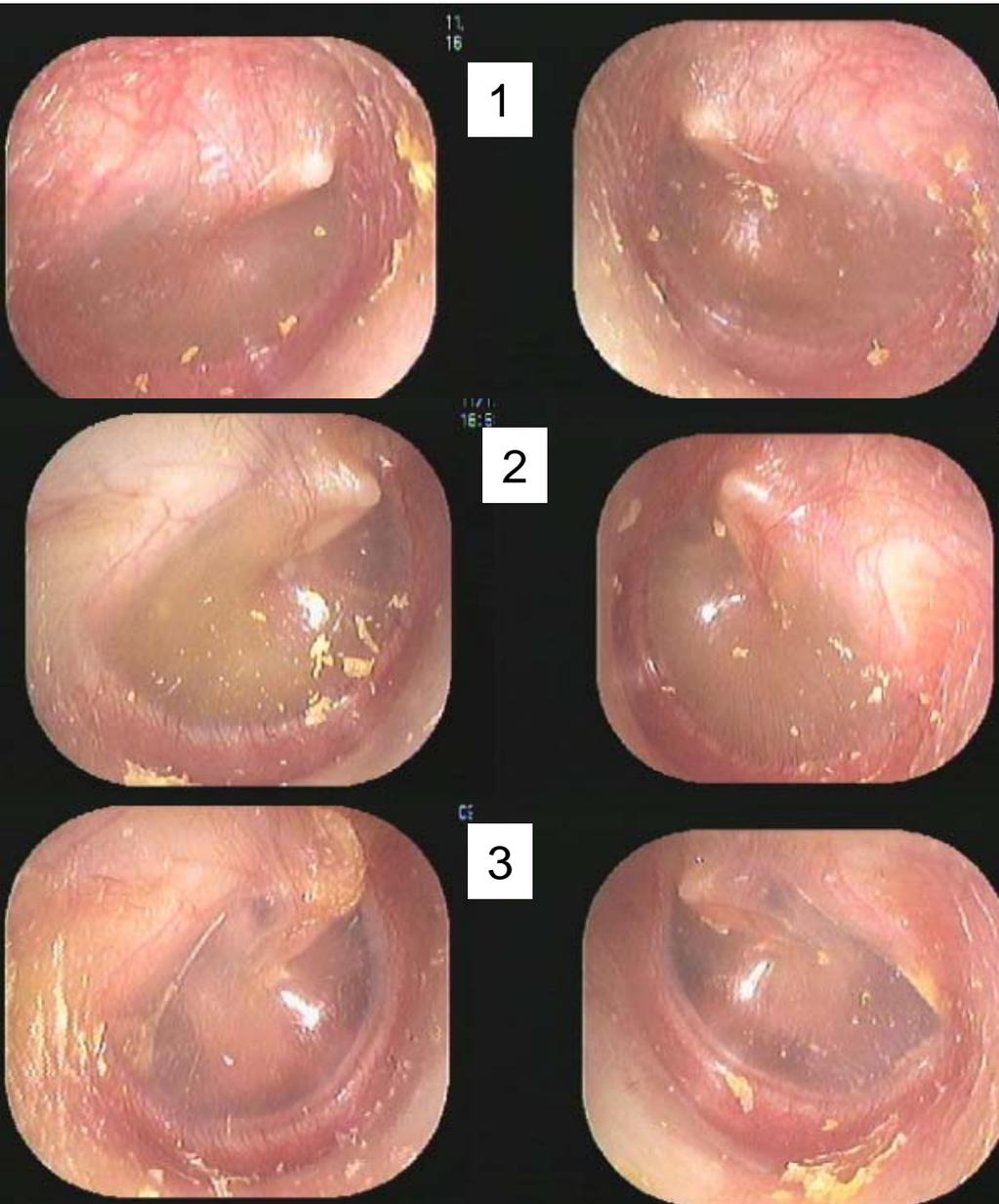
# 結果のグラフ



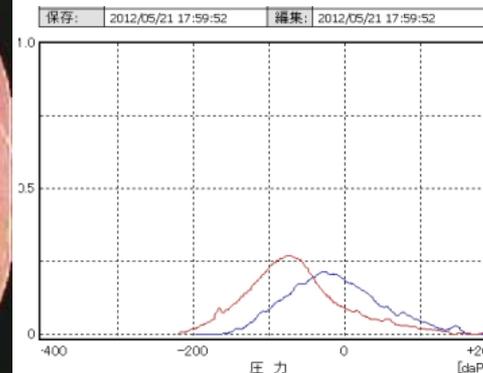
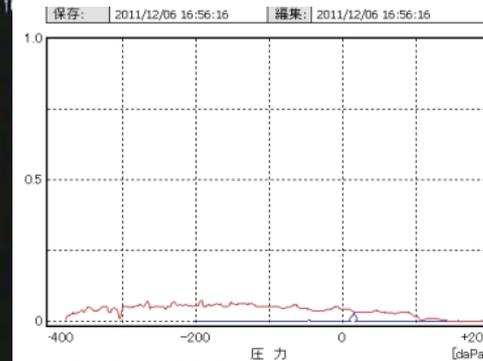
麻杏甘石湯の有効率50%以上 遷延性中耳炎で治癒率が高い  
→ 急性中耳炎から滲出性中耳炎への移行を防ぐ効果が期待できる？

# 実際の症例

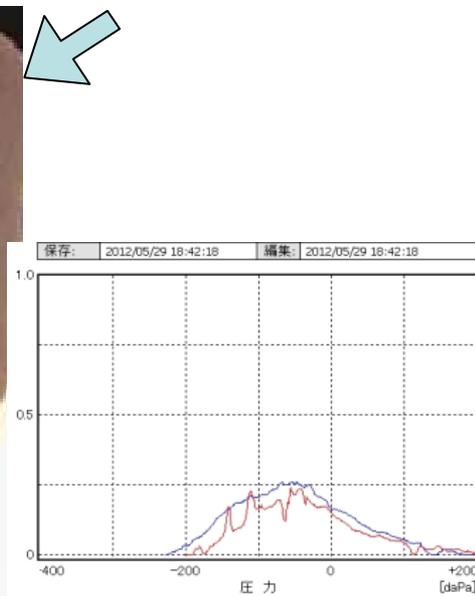
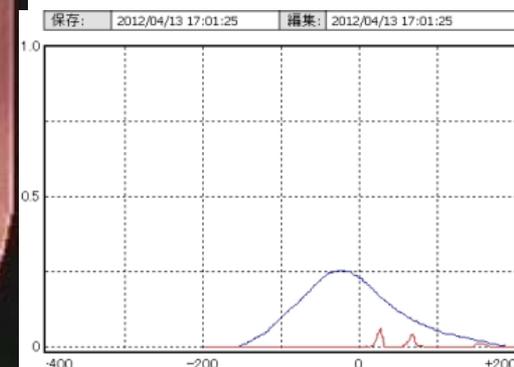
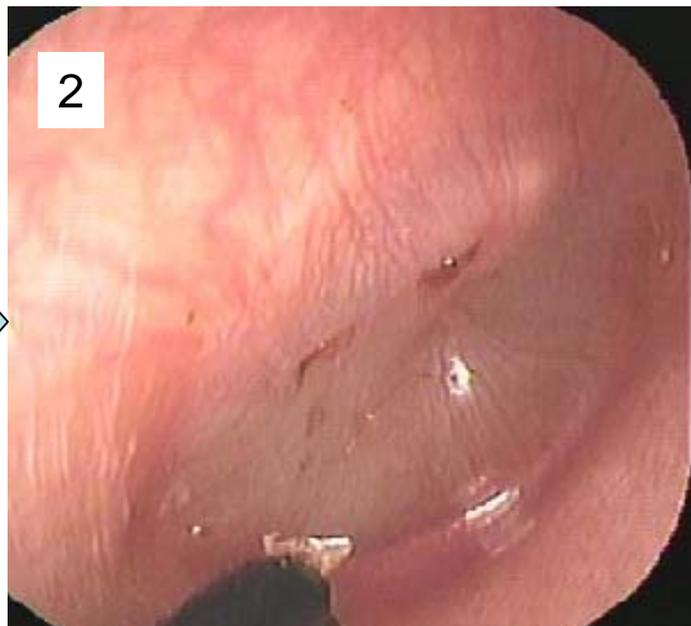
# 4才女 滲出性中耳炎



- 2011年10月 初診  
他院小児科で抗アレルギー剤 去痰剤処方中  
クラリスロマイシン 7日間処方  
鼻漏増悪 鼻漏培養BLNAR(CVA/AMPC R)  
オゼックス 7日間×2 処方
- 滲出液消えず  
11月 麻杏甘石湯単独に切り替え  
(麻杏甘石湯2.5g無効→3.75gに増量し効果発現)
- 5月(投与開始 6ヶ月目) 治癒と判定



# 3才 男 右遷延性中耳炎



- 1 他院で中耳炎治療後 当院を受診  
フロモックス テルギンG ムコダイン  
7日間処方
- 2 鼓膜所見不良 チンパノメトリB  
麻杏甘石湯3.75g 単独処方
- 3 投与7日目 鼓膜所見改善  
さらに14日間 追加処方  
21日目 治癒と判定

# 小児に漢方を飲ませるために ( 苦みを抑える工夫が欠かせない )

## 1 処方工夫 ( 処方 + $\alpha$ )

ココアパウダー

アンプロキシソール ( ムコサール、プルスマリン )

( 甘い )

小児の膿性鼻汁や後鼻漏に対する  
辛夷清肺湯の有用性

つちうら東口クリニック 院長 川嶋 浩一郎

Phil漢方No29.2010.  
p16-17

97%が服薬可能?

## 2 お母さまの工夫 ( 混ぜて飲ませる )

フルーツゼリー

甘いアイスクリームやヨーグルト

バナナ

# 考 察

- 1 今回の有効率50%以上は良すぎる印象
- 2 麻杏甘石湯を使い始めたきっかけは  
滲出性中耳炎が改善した一喘息症例の経験
- 3 気道炎症を改善させる作用が  
滲出性中耳炎にも良い影響を与えた？
- 4 もしかすると マクロライド少量長期投与療法  
のような効果を期待できる？  
(うまくいけばマクロライド使用を減らせる？)

# 課 題

1 第三者的な追試の必要性

(試してみてください)

2 急性炎症再発の抑制につながる??

(難しい印象)

3 中耳炎の保険適応がない

(処方時に注意が必要です)